

令和 3 年 12 月 3 日

報道機関 各位

＜教養教育科目「産業観光学」＞
富大生が県内の産業観光施設を訪問し
現場だからこそ伝わる魅力ある写真等のレポートを Instagram 公開

■ 概要

教養教育科目「産業観光学」は、人口減少から生ずる様々な地域課題解決に取り組む能力を兼ね備えた「未来の地域リーダー」を育成するための「富山大学地域課題解決型人材育成プログラム」での教養教育科目となります。

本授業のねらいは、「産業観光」の視点から県内産業や企業を知ること、富山県産業の特性や成長・発展の可能性や、「進取の気性」の風土について理解することです。

このたび、10月中旬から11月下旬にかけて、履修生の授業外学修の一環として、「産業観光図鑑2021（富山県広域産業観光推進委員会、富山県商工会議所連合会）」に掲載されている任意施設を1箇所訪問し、「現場だからこそ伝わる、その施設の魅力を象徴する写真とキャッチコピー」をレポートする課題に取り組んでもらいました。

本来これらの結果は学内のみで扱うものですが、県内産業観光の一層の振興を期待して、Instagramを用いて対外的に情報発信することとしました（著作権等のために未掲載のものもあります）。つきましては、取組の趣旨をご理解いただき、よろしければ、取材・報道方宜しくお願い申し上げます。

なお、本授業では、今後「現地視察をした産業観光施設の改善提案書」や「産業観光モデルコースづくり」にも取り組む予定です。

■ 日時・場所 他

媒体：Instagram

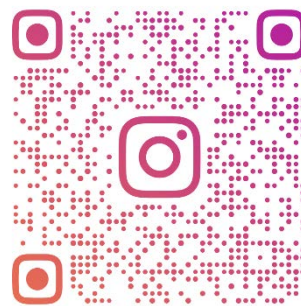
履修生：88名

公開期間：令和3年12月1日～令和4年1月末（予定）

URL：https://www.instagram.com/2021san.kan_official/

■ 添付資料

シラバス



2021SAN.KAN_OFFICIAL

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学地域連携推進機構地域連携戦略室 講師 塩見一三男

TEL：076-445-6960(直通) Email：shiom@ctg.u-toyama.ac.jp

ウェブサイト：https://www.instagram.com/2021san.kan_official/

授業科目名(英文名) / Course title	産業観光学 / Industrial Tourism Studies				
担当教員(所属) / Instructor	塩見 一三男(地域連携推進機構), 安嶋 是晴(芸術文化学部), 尾山 真(地域連携推進機構), 岸本 壽生(経済学部, 地域連携推進機構)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 総合科目系				
COC + 科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2021年度 / Academic Year 後期 / Fall 月 / Mon 2	対象所属 / Eligible Faculty	教養教育科目		
時間割コード / Registration Code	106480	対象学年 / Eligible grade	1年, 2年, 3年, 4年	単位数 / Credits	2.0
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00041-2700				
連絡先(研究室、電話番号、電子メールなど) / Contact	塩見 一三男(塩見一三男 地域連携戦略室(五福キャンパス, AZAMI(カフェ)2階) 電話番号: 076-445-6955 電子メール: serecos@ctg.u-toyama.ac.jp)				
オフィスアワー(自由質問時間) / Office hours	塩見 一三男(月~金の午後は, いずれかの教員が地域連携戦略室に在籍の可能性が高いですが, 不在の場合もありますので, 事前にTELかメールで確認してください。)				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日 2021/10/03				
授業計画を変更しました。					
10/18(月) 休講					
11/24(水) 13:00~14:30 追加 詳しくは第1回講義でお話しします。					
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>本授業は, 人口減少から生ずる様々な地域課題解決に取り組める能力を兼ね備えた「未来の地域リーダー」を育成するための「富山大学地域課題解決型人材育成プログラム」における「教養教育」の授業科目となります。「地域ライフプラン」, 「富山の地域づくり」, 「産業観光学」, 「富山のものづくり概論」等が該当する授業科目です。教養教育の段階では, 地方創生の意義や富山県を含めた地方において, 働くこと, 暮らすことの魅力について理解してもらうことを, 全ての授業科目の共通のねらいとしています。</p> <p>「産業観光」とは, 従来型の観光形態とは異なるニューツーリズムの一つであり, その定義は, 「歴史的・文化的価値のある産業文化財(古い機械器具, 工場遺構等のいわゆる産業遺産), 生産現場(工場・工房等)及び産業製品を観光資源とし, それらを通じてものづくりの心につれられるとともに, 人的交流を促進する活動」(須田, 2005)とされています。</p> <p>本授業には2つのねらいがあります。まず1つは, 「産業観光」という観光政策を通じた富山県経済発展の可能性を考えていただくものです。もう1つは, 「産業観光」の視点から個々の企業のビジネス変遷やこだわりに接することで, 既存産業の再生や新たな産業を創生することで発展してきた富山県のダイナミックな地域イノベーション, そして県内企業が共通して求める「進取の気性」「富山県を愛する心」を理解してもらうものです。</p> <p>具体的な授業は, 「講義」, 「現地視察」, 「グループワーク」, 「グループ発表」から構成されます。 「講義」では, 本学教員や産業観光に取り組む企業等の外部講師(ゲストスピーカー)による講義を通じて, 産業観光に係る基礎知識を理解してもらいます。 「現地視察」では, 富山県広域産業観光推進委員会等が発行する「富山産業観光図鑑」を参考として, 学生自身で産業観光施設の見学をしてもらい, その結果をSNS()を通じて報告してもらう予定です。 「グループワーク」と「グループ発表」では, 講義や現地視察の結果を踏まえた産業観光モデルコースのプランニングと発表を行っていただきます。</p> <p>授業の中では, Instagramでの写真投稿を行う予定ですが, Instagramを使えない方に対しては, 代替案を検討しますので, 必須ではありません。</p>					
達成目標 / Course Goals					

次の3点を達成目標としており、特に に重点をおいています。

人口減少から生ずる地域課題の具体的内容、「地方創生」という政策の意義、富山県を含めた地方での暮らしの魅力や可能性について、自らの言葉で説明することができる

他者の様々な意見を聞き、自分の意見も踏まえて意見交換ができるコミュニケーション能力、を身につけることができる

「産業観光」という観光政策を通じた富山県経済発展の可能性や、富山の地域イノベーションの変遷、「進取の気性」の風土について、自らの言葉で説明することができる

授業計画（授業の形式、スケジュール等）/Class schedule

スケジュールは以下となりますが、新型コロナウイルス感染症の発症状況によっては、内容を変更する場合があります。変更がある場合は、授業及びシラバス上で通知します。

- 第1回 10/4（月） オリエンテーション・産業観光図鑑の紹介
第2回 10/11（月） 現場だからわかる産業観光施設の魅力 講師：武山理事
- 第3回 10/18（月） 休講
- 第3回 10/25（月） 我が国の観光政策と産業観光 講師：安嶋准教授（芸術文化学部）
第4回 11/8（月） 富山県での産業観光の意義 講師：高木非常勤理事（富山商工会議所会頭）
第5回 11/15（月） 富山県の産業構造と特徴 講師：中村教授（経済学部）
第6回 11/22（月） 産業観光に取り組む企業 ゲストスピーカー：株式会社源
第7回 11/24（水）13：00～14：30 現地視察振り返り～グループ討議
～現地視察した産業観光施設の問題点、改善点等の共有・発表
第8回 11/29（月） 産業観光に取り組む企業 ゲストスピーカー：黒部ツーリズム株式会社
第9回 12/6（月） 産業観光に取り組む企業 ゲストスピーカー：株式会社能作
- 第10回 12/13（月） グループ編成ワーク
～モデルコースの仮キーワード抽出プレスト、希望キーワード表明、グループ編成
第11回 12/20（月） グループワーク
第12回 1/12（水） グループワーク
第13回 1/17（月） グループワーク
第14回 1/24（月） 優秀モデルコース発表、表彰、講評 プレゼンター：高木非常勤理事（富山商工会議所会頭）
第15回 1/31（月） 最終講義（講評、全体振り返り） 講師：安嶋准教授（芸術文化学部）

授業時間外学修（事前・事後学修）/Independent Study Outside of Class

- 第2回～第9回の講義前に提示する事前学修テーマについて、インターネット情報検索等によって調べてください（1時間程度/回）。
第2回～第9回授業終了後に課すレポート、第15回授業終了後に課す最終レポートを整理してください（1時間程度/回）。
第2回～第6回の間任意の時間を活用して、産業観光施設1施設の現地視察を行っていただきます。その結果は、現場だからわかったおすすめ写真と、視察結果を踏まえたレポート提出を行っていただきます。

キーワード / Keywords	授業内容 観光、ニューツーリズム、産業観光、富山県の産業の歴史 授業形態 アクティブラーニング、ICT活用、実務経験教員科目 ENGINE科目
履修上の注意 / Notices	ゲストスピーカーからの講義の後、質疑応答を行います、きちんとした質問ができるよう、しっかりと考えながら話を聞いてください。また、グループワークも行いますので、積極的な話し合いをすることが求められます。 欠席したり、毎回講義中に指示する提出物やレポートの提出を怠ったりすると単位の修得は困難となります。
教科書・参考書等 / Textbooks	特に定めない。毎回必要な資料は配付し、参考文献なども適宜紹介する。

成績評価の方法 / Evaluation	<p>成績評価の情報源と配点割合</p> <p>各授業のレポート（事前学修，授業終了後）：30% 最終レポート：20% 現地視察のSNS報告，改善点レポート：20% グループワークによるプランニング：20% 授業への積極的な参加（外部講師への質問，グループワークの参加・発表等）：10%</p> <p>レポートの評価基準</p> <p>自分の考えや主張（論点）がある。また，その論点が導かれるプロセスが明確で，かつ論理的である。</p> <p>のエビデンスとして，各授業の基本的事項が活用されている。また，授業内容から派生した自分の経験や，独自に収集した情報源が，引用元とともに示されている。</p> <p>文章の体裁・表現の推敲が行われている。</p>
関連科目 / Related course	地域ライフプラン，富山の地域づくり，富山のものづくり概論
リンク先URL / URL of syllabus or other information	
備考 / Notes	